広報

キラキラ☆たまみず（ぼし）

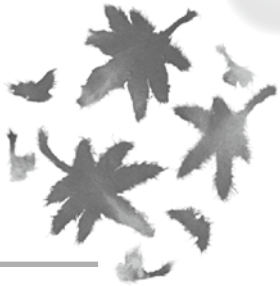
平成27年11月20日　第40号

発行［玉水まちづくり協議会］

発行責任者：会長　前　岡　弘　國
連絡先：☎・Fax（079）506-3163

スポーツの秋や文化の秋、読書の秋など秋たけなわの時期は過ぎてしまいましたが、城北地区でも親睦運動会や祭りを通して秋のすばらしさを味わうことができました。

昔から伝わる「鱧（はも）切り祭」や「大賣（おおひるめ）神社や轟（とどろき）神社の秋の大祭」では、伝統を引き継ぎながら、ふだんあまり顔を合わせることのない住民同士も心を通い合わせる姿が各地で数多く見られました。それらのすてきな場面を紹介します。



10月12日(月)　大賣（おおひるめ）神社（寺内）秋の大祭 行われる

［若宮まで進む子どもみこし。］

午前１０時、厳（おごそ）かな「神事」が始まり、金神輿（みこし）や子ども神輿（みこし）・宝物・てんぐ面・獅子頭（ししがしら）などのお渡りがありました。そして、「はいさい・居酒屋」の４人のメンバーによる音楽演奏、景品の当たるもちまきが行われました。

大賣（おおひるめ）神社のお祭りは、近隣の８つの自治会が集まって実施されています。

かつては、子どもたちを乗せた太鼓神輿（みこし）が勇壮に練り歩いていたそうです。が、今は金神輿（みこし）に続いて３基の子ども神輿（みこし）が、神社から３００メートルぐらい離れた若宮まで往復しています。

太鼓の音に合わせた「ヨーイ、サンジャ！」の、子どもたちの元気なかけ声が響いていました。

［太鼓の音が聞こえてきそうです。］

［三線と歌の演奏に耳を傾けました。］

続いて「はいさい・居酒屋」の４人のメンバーによる三線の音楽演奏が行われました。「安里屋ユンタや涙そうそう」などの沖縄にちなんだ曲に、見ていた方々は手拍子をしたり耳を傾けたりしていました。

いよいよ待ちに待った「もちまき」が始まりました。スーパーの袋を手に、子どもたちも大人もわれ先にと、まかれたもちを拾いました。もちの裏側に赤い数字が書かれていれば、景品が当たります。中には折りたたみ自転車や一輪車が当たった方もあり、大いに祭りを楽しむことができました。

10月17日(土) 前沢田地区で行われた 鱧切祭り

［見事にハモを切ることができました。］

前沢田公民館で、ハモを大蛇に見立てての「鱧切り祭り式」が厳かに執り行われました。

料理や酒を食し、機が熟したところで、不気味な板戸をたたく音とともにハモが登場。ハモ切り役が鱧を一刀両断されると、大きな拍手に包まれました。見事に退治されたので、今後も前沢田地区の発展とその地域にお住まいの方々の幸せが続くことでしょう。

その間、子ども神輿が前沢田地区内を練り歩きました。神輿を引っ張った子どもたちは、「頑張ってしっかり引こう。そして、伝統を守っていこうと思いました。」との感想をもらしていました。

「ワッショイ、ワッショイ!」の子どもたちの元気なかけ声が前沢田地区内に響いていました。

歴史探訪［鱧切り祭り］

昔、澤田は字の通り沼田であり、その中に大きな蛇が住んでいた。村人は、毎年、大切な長男を順々にスッテンテンと呼んで生け贄に出していた。ある年、この蛇を退治するという神が現れ、ドブロクをつくり、その酒を御酒持（オミキモチ）に注がせ、蛇が酔いつぶれたところを切り殺した。

これ以来、人身御供を廃することができた。村人は喜んで、神が大蛇を退治した形容を模倣して澤田八幡神社の祭典とした。

10月17日(土)・18日(日) 新荘地区で行われた
轟(とどろき)八幡(はちまん)神社の秋祭り

［太鼓みこしで太鼓をたたく子どもたち］

ここ近年、当神社の秋祭りは、祭礼ともちまきが中心でした。それだけでは寂しいし、特に子どもたちにも楽しんでほしいという願いのもと、平成元年に「樽神輿(みこし)」を作ることができました。そして、樽神輿から太鼓神輿に変わり、子どもたちが乗って太鼓をたたきながら新荘地区内を練り歩きました。また、もちまき後の大抽選会も楽しみの一つになっています。

［新調された１対の幟(のぼり)］

今年は、３対ある幟(のぼり)のうち１対が新調されました。神社役員を始め、子供会や消防団、自治会の方々の協力を得てますます盛大になるよう願っています。

9月19日(土) 城北畑小学校運動会 行われる

［赤組も白組も、カー杯頑張りました。］

スローガン ＜WE CAN DO IT！ 城北畑のアスリート！＞ を合い言葉に、城北と畑との統合から３回目の運動会が、さわやかな風と暖かい日差しに包まれて開催されました。18名の６年生をリーダーとして、全校児童154人がカー杯の演技を披露しました。

花形のリレーや愛らしい表現のダンス、統一美が光る組体操など、どの種目も１年生から６年生までのすばらしい演技に観客席から温かい拍手が贈られました。

スローガンの通り、「やればできる！」を体現できた子どもたちも、やりとげた満足感が体からにじみ出ていました。地域や保護者の方々も玉入れやＰＴＡ競技に参加して、運動会を盛り上げることができました。

［見事な演技に大きな拍手をいただきました。］

［カー杯、綱を引っ張りました。］

今日の運動会を通して、子どもたちは地域の中で育ち、地域の中で学び、地域の中で愛されて育っていることを強く感じました。今後も、城北畑小学校の子どもたちを温かい目で見守り、応援していただきますよう願っています。

（城北畑小学校ＰＴＡ会員より）

10月25日(日) 青空の下、和気あいあいと行われた
城北地区 親睦運動会

［COCOLOの皆様による和太鼓演奏］

少し肌寒い天気ではありましたが、小さい子どもたちから高齢者までの城北地区の人々が一同に集い、競技と和太鼓の演奏に楽しいひとときを過ごすことができました。

その活躍ぶりを写真でお知らせします。

［何が入っているのかな？］

［早く、早くバトンを!］

［ボールを落とさないように!］

●●●●（スポーツの秋が満喫できたことでしょう。）

○［黒岡自治会］ 9月20日（日） 黒岡 法昌寺にて、
生演奏を聴きながらの「お月見会」が行われました

『地域の活性化を願って』、黒岡自治会と檀家の方々による第３回お月見会が開かれました。あいにく、この日は満月ではありませんでしたが、団子を月に見立てて五穀豊穣を願って乾杯し、かがり火がたかれた境内では、焼きそばやたこ焼きなどの模擬店と生演奏で秋の夕べを満喫しました。

特設ステージでの生演奏は、

オカリナとエレクトーンによる童謡
檀家による尺八で民謡
篠山中学校卒業生でつくる「ささやまメモリアルバンド」によるエレキギターで懐かしの曲の数々

で、バンドの呼びかけで谷垣 政道住職も飛び入りで熱唱する姿が見られました。アンコールの声も飛び交い、さいごまで熱い熱気に包まれました。

瀬戸 洋美自治会長さんは、「地道な地域の活動を定着させることで、親睦や信頼関係が築け活性化につながるのでは」と目を細められていました。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●